

**【事業名】 公園の無限大の可能性～地域貢献の場へ～**

NPO 法人 Lotus	花と緑の課
<b>(1)協働の相手方と信頼、尊重し合う関係を意識しながら企画事業を行うことができましたか。</b>	
<p>打合せや事業の進捗の中でも事業に対する思い、こんな未来像を描いているということを随時伝えることができ共感していただいていたことが大きいです。</p>	<p>企画事業については、周辺住民への影響も懸念されたが、打合せを密に行い信頼関係を構築することで特段大きな問題はなく事業終了することができた。</p>
<b>(2)事業の課題認識と目的を協働の相手方と共有することができましたか。</b>	
<p>事業内で起きた想定外問題点を含め、さまざまな課題を、常に迅速丁寧に、快く対応していただきました。決して事務的な対応ではなく目的意識を共有できていたからこそと思います。</p>	<p>今回の課題テーマである「新たな魅力づくり」については、当課の目標以上の効果があったと感じたが、管理運営方策については、役割分担が不明確で伝わらない部分があったと感じた。</p>
<b>(3)自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか。</b>	
<p>事業計画通りとはいかないことも多々ありましたが、自社の強みを活かせたこと、新たな転換によって臨機応変に対応できたと思います。</p>	<p>概ね役割を果たせたと推察するが、イベントのPRや情報の発信については、もう少しよりよい手法があったのではないかと感じている。</p>
<b>(4)事業の進捗状況や情報を協働の相手方と共有することはできましたか。</b>	
<p>天候にかなり左右されたことで、想定外の事が幾度となく発生しましたが、報告連絡相談しながら問題解決していったことは、常にコミュニケーションがとれていたからこそと思います。</p>	<p>イベントの開催時期や周辺への周知については、密に打合せすることにより、共有することができたが、施設の詳細情報までは共有することができず、開催できない日があった。</p>
<b>(5)協働の相手方と互いの特性を活かすことができましたか。</b>	
<p>子育て環境改善に向けた事業を行ってきたNPOの弊社と、一見異分野とも思える花緑課との協働作業は、相互の苦手分野を上手くカバーし合い、強みがスピードと確実性をもって取り組むことができました。そのことが地域住民への信頼と安心感に繋がっていることを市民の声から実感できておりました。</p>	<p>行政側としての役割（地元への周知方法や施設管理のノウハウ等）と民間事業者としての役割（イベントの企画立案等）をうまく活かして参加者数を増やすことができた。</p>

**(6)この事業を協働により実施することで効果は上がりましたか。**

協働だからこそ実現した事業だと思います。花緑課であったこと、公園という場所であったからこそこの事業でした。想定以上の効果と将来性を感じております。

協働により実施することで、公園利用という特異性の担保、民間活力の発揮などの、行政・民間単体では不可能な事業を実施することができた。また、公園の魅力や課題等についても理解することができた。

**(7)その他、この事業を通じて感じたことや、相手方への要望、制度の改善策等について**

休憩所(四阿や)を県の別事業の採択により、過ぎたくなる空間にリノベーションできたことも、この事業機会により成果の一つとして残せたことと自負しております。

申請時や準備段階では、課題をどう解消していくかに焦点を充てておりましたが、事業開始直前に起きた痛ましい事故によって、本事業に取り組む際の思いは言葉で言い尽くせるものではなく、関わった全ての人の強い使命感以外何ものでもありませんでした。

地域住民や弱者(子どもたちやお年寄り)にとって優しく実のある事業にしていきたいという思いを抱き続けられたこと、試行錯誤を繰り返し改善できたこと、そして結果、本事業を最後まで事件事故無く終えることができたことに安堵感と達成感を感じつつも、事業によって発見できた課題を今後も引き続き改善したいところです。

花緑課の課の皆さんとの関わり、公園を掃除される職員の方々、常に本事業を気にかけてくださっていたからこそ、初めてのこの取り組みが地域住民の方々より、想定外の評価を得られたのだと思います。

「この大町中央公園をどのようにしていきたいか」会津若松市全体の公園を、近隣に住みたくない訪れたい理想とする公園にしていきたいという未来像を描きながら、取り組めたことに感謝申し上げます。

制度の改善策につきましては、開催場所の大町中央公園の在り方、地域住民の方々との関わり方は、民間団体だからこそ臨機応変に対応できるものであり、公園管理利活用について地域課題解決するミッションの NPO に管理を委ねて頂きたいと考えます。

市内公園や緑地の維持管理については、町内会や周辺住民の協力をいただき管理運営を行っている現状があるが、今後は高齢化等の影響により、市での対応が増え市費の増加が課題となってくる。また、高度経済成長期に整備された公園については、施設の老朽化が顕著になってきており、改修や更新を必要とする施設が今後一気に増加する。そのため、公園での PPP/PFI 事業については、近年全国で需要が高まってきており、民間の活力を生かした魅力づくりと管理運営方策については、公園の管理者として大きなテーマである。

今回の事業についてイベント実施前は、公園の魅力や賑わいを向上させ、大町中央公園を使われる公園とすることが主の目的として考えていたが、長い期間開催したことにより、公園は市民の憩いの場であり、使う人が使いやすい工夫や、空間づくりが重要であると改めて感じた。また、地域参加型とすることで愛着を持って管理に携わっていただけることや、安全・安心に利用してもらうためには公園の空間を見直す必要があるなど、今回の事業によりわかった行政だけではわからなかったことが浮き彫りになったことが大きな収穫となった。協働事業者の Lotus さんへは公共施設という制約が多い中、最後までやり通していただいたことや今後の利活用についても提案いただいたことに大変感謝するとともに、今後の公園の魅力向上のために継続して情報の交換や、協働事業を検討していきたい。